

わすれられない一ヶ月

パラカツ日本語学校 嶋田 明

みんなといっしょに会ったとき、ちょっとへんに思いました。

「つぎの一ヶ月でこの人たちと生活して、どうやって友だちが出来るかな」と思って日本へ来ました。

一週目にプロジェクト・アドベンチャーがあつて、そこでうんどうをしながら友だちをつくりました。チームではたらくことをならいました。そのあとでみんな六はん（グループ）に分けて、どこへ行くにもそのはんといっしょに勉強しました。みんな自分のやく目をもつて、きょうりよくしゃいました。

いみんの勉強をしたときに、ひいおじいちゃんのことをたくさんおぼえました。日本にいたとき、ひいおじいちゃんの生活はたいへんでしたから、ブラジルへ来てあたらしい生活をつくるつもりでした。でもそのちがう国でさべつがありましたから、たくさんはたらいてもひいおじいちゃんの生活はかわらなかつたそうです。それでもいつしうけんめいはたらいで、おじいちゃんもてつだつて、今はいい生活をしています。だから、ひいおじいちゃんのふるさとにきょうみをもつています。

このけんしゅうでいみんのはくぶつかんへ行つたり、えらい人の話しきいたり、すごく楽しかつたです。ブラジルにもどつたら、たくさんおじいちゃんとおばあちゃんに話したいです。

リサイクルプラザへ行つたときにブラジルと日本のちがうことを感じました。なぜならブラジルはゴミの分け方はあまりきびしくないです。ゴミばこがなくても、日本人はちゃんと自分のかばんにゴミを入れていえについてからです。そのことをたくさんかんがえて、「日本人はえらいなあ」と思いました。

中学校へ行つたとき、ふつうの勉強をすると思いましたが、楽しい学科がありました。音楽や木工がブラジルの学校にないのでとても楽しかつたです。そこのせいとたちと話して、日本人の一日中のことをもっとおぼえました。すぐホームステイでしたから楽しみでした。

ついにホームステイの日がきました。そのいえについたときおどろきました。みんなやさしくてすごくしあわせなかぞくでした。みんなといっしょにたくさん食べたり、あそんだり、話したりしていい時間をすごしてすごく楽しかつたです。また、いつかみんなと会いたいです。

けんしゅうりよこはしんかんせん（滋賀県）へ行きました。そこには雪がのこついていて、はじめて雪にさわつて、みんなとたくさんあそびました。先生もあそびました。よるはホテルのおんせんに入りました。みんなとおふろに入って楽しかつたです。ちょっとはずかしかつたけど、「自分がすんでいる町のにつけい人はどんなイメージをもつてゐる」とか「みんなどうして日本語の勉強をはじめたか」とか、たくさん話しました。いろんなこともおぼえました。

日本に来る前はきんちょうしていたし、一ヶ月一人で外国にいることができるかおそれていました。でも私は一人じやなかつたし、みんなも同じようなじょうきょうでした。

今は友だちもたくさんできたし、このけんしゅうのさいごの日、「まだ、かえりたくない」と思いました。

ブラジルにもどつたら、ほかのにつけい人にこのけんしゅうのけいけんのことを話して、日本にきょうみをもつようにつたえていきたいです。